

「親のありがたみがわかる事業」合宿通学スタート

子供たちが親元離れて9日間の共同生活



子供たちが親元を離れ仲間たちと生活する「親のありがたみがわかる事業 合宿通学」が今年も行われ、臼石小学校の子供たちを対象とした第1回目の開校式が5月31日、深谷にある老人いこいの家「やすらぎ」で行われました。

この日の開校式へは臼



▲開校式の様子

石小の19人の子供たちとその保護者が参加。同小学校の吉田雄二校長と神長村教育長から期間中の生活上の約束や励ましの言葉が子供たちに贈られたほか、多田仁彦さん（宮内）や教育委員会職員らが指導者として紹介されました。

続いて、子供たちを代表して臼石小6年の林翔くん（臼石）から「去年はケンカをしてしまった時に上級生にとってもお世話になったので、今年は自分がみんなの面倒をみたい」と合宿生活中の抱負が述べられました。

その後子供たちは早速宿泊の準備にとりかかり、8泊9日の合宿生活が始まりました。

合宿通学は今回の臼石小が5月31日から6月8日まで、飯樋小が6月14日から22日まで、草野小学校が6月28日から7月6日までの日程でそれぞれ行われる予定です。

議会のTV中継始まる

議会をテレビで気軽に傍聴

5月15日に開催された平成15年第3回飯館村臨時議会から議会のテレビ中継が導入され、役場庁舎内の全てのテレビに議会の様子が映し出されるようになりました。



▶テレビ中継で議会のようすが見れるようになりました

これは、議会開催状況の情報を広く公開することで、諸議会活動及び行政へ理解を深めてもらおうと始まったものです。

今回議場に設置されたカメラは2台。いずれも書記の席からの操作で議場全体、または質問者のアップなど様々な角度からの撮影が可能になっています。

テレビ中継がはじめて行われたこの日、役場「ほっとコーナー」に設置されたテレビにも議会の様子がリアルタイムで映し出され、役場を訪れた住民や業者の方は「気軽に議会を傍聴できるのが良い」とテレビの前で足を止め、画面の中で行われる議会の様子を興味深そうに見ていました。